

# 第5回運営委員会議事録

平成15年1月27日(月) 午後3時より

場所:茨城県職員会館 第4サークル室

1.出席者:12名

2.打合せ結果

1)活動報告について(発表者:事務局の増子裕一)

・12月20日(金)の開催した「現地見学会」の報告を行いました。

参加者:36名(大型バス1台)

見学場所:常陸那珂東京電力火力発電所(午前)、  
大北川総合開発事業小山ダム(午後)

・1月24日開催の「リサイクルワークショップ」の報告を行いました。

参加者:89名、開催場所:(財)茨城県建設技術研修センター 第2研修室

発表者テーマ

「茨城県の建設廃棄物の現状と茨城県のリサイクルの取り組みについて」  
(茨城県土木部検査指導課 秋山文昭)

建設廃棄物処理の現状について

(1)中間処理業の立場から (株)ヤマゲン 三枝敏)

(2) " (有)茨城県リサイクル協会 沼田元良)

「公共事業発生残土有効利用について」

((財)茨城県建設技術管理センター 野内光男)

「学会の取り組み・研究の動向について」

(茨城大学工学部都市システム工学科 沼尾達弥)

「建設業の立場から」 (株)井坂組 井坂實)

「コンサルタントの立場から」 (株)長大 牧野均)

「大学の研究から」(茨城大学工学部都市システム工学科 安原一哉)

「他産業における活用について」 (アートセラミック(株) 川瀬光一)

2)分科会報告(新全総グループ)

・ケーススタディー「東海村北部地区」現地視察会の報告と今後の進め方について発表いただきました。

発表者:新全総G(山口忠志、沢島守夫)

3)次回運営委員会の予定

・2月26日(水)p.m.3:00~第6回運営委員会 場所:茨城県職員会館(水府橋際  
水戸駅より交差点付近)

委員会開催の前段で同場所に於いて

p.m.1:00~3:00新全総G課題発表

「東海村北部地区」の地質・地層について(地質調査G)

「東海村北部地区」の農業用水排水について(茨コンG)

4)その他の事項(今後の検討課題等)

・当研究会をNPOの法人格付けを検討してはどうか?

・ドイツ~ノルウェー(都市計画・浮体橋等)の海外視察の検討を進めてほしい。

・現在新全総Gが進めている「東海村北部地区」は、調整区域であるため都市計画法上の趣旨において問題は生じないか? 今後広い立場で議論してゆくこととした。

・「東海村北部地区」について水(水系)の話は茨大の神子先生にお願いすることにした。

・建設副産物のワークショップが活況だったので、再度同テーマで開催してはどうかとの意見があった。

・マスコミに当研究会のPRをもっとしてもらったらよいのではないか。